

# エクセルの I F 関数

※ エクセルの「IF 関数」と「AND 関数」を使って、複数の条件を組み合わせて判定する方法を学ぶ（ここでは、国語も数学も 70 点以上であれば合格、でなければ不合格とする）

以前にも学習したものですが、再度挑戦してみてください。

① エクセルを起ち上げて下のような表を作成する

	A	B	C	D
1	名 前	国語得点	数学得点	合否判定
2	安藤洋介	78	65	
3	井上みどり	74	58	
4	内田幸太	80	87	
5	江藤美咲	74	92	
6	小田城太郎	65	64	
7	狩野治代	80	61	
8	吉瀬裕磨	95	81	
9	大木さゆ	77	83	
10	豊田弘樹	64	59	
11	山岡優美	94	69	
12	菊池勝利	88	49	
13	花村真実	77	63	
14	平均			

名 前	国語得点	数学得点
安藤洋介	78	
井上みどり	74	
内田幸太	80	
江藤美咲	74	
小田城太郎	65	
狩野治代	80	
吉瀬裕磨	95	
大木さゆ	77	
豊田弘樹	64	
山岡優美	94	
菊池勝利	88	
花村真実	77	
平均	=AVERAGE(B2:B13)	



② 国語の平均点を表示する B14 セルをクリック → ホーム → 編集グループの「Σ」右の下向き矢印をクリック → 平均(A) をクリックすると上のような計算式が入力されるので、囲まれている範囲が正しいことを確認し、エンターキーを押して計算結果を表示させる

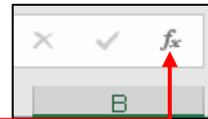
③ 「78.83・・・」と小数点以下も表示されるので、そのセルをクリック後、ホーム → 数値グループの「小数点以下の表示桁数を減らす」を整数になるまで押す（四捨五入されて「79」となる）



平均	79
----	----

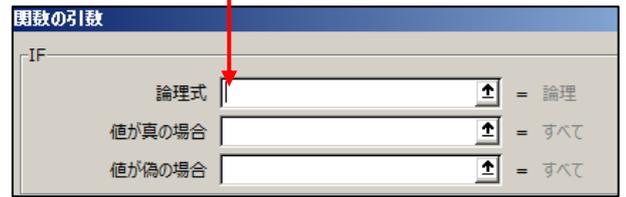
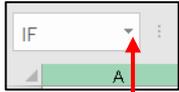
④ B14 セルのオートフィルハンドルをドラッグして計算式を C14 セルにコピーし、数学の平均点を表示させる（③で整数にしてあるのでここでは自動的に整数になる）

⑤ 「合否判定」欄には IF 関数の中で AND 関数を使って次の手順で、2 科目とも 70 点以上なら「合格」、そうでなければ「不合格」と表示させる（途中で OK やエンターキーを押さないように注意！）

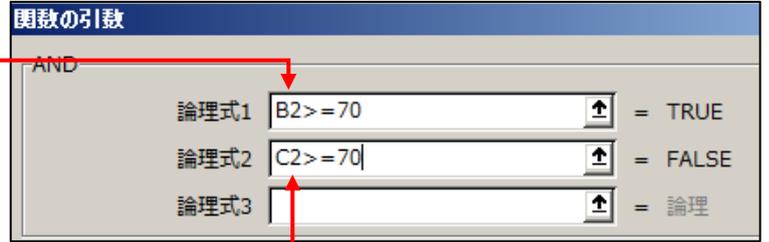


1) D2セルをクリック → 関数の挿入をクリック → IF関数を挿入する

2) 右の「論理式」欄にカーソルが出ている状態で、名前ボックスの下向き矢印をクリック → その他の関数 → AND関数を探して挿入する



3) 「論理式 1」欄に半角で、安藤さんの国語の得点が 70 以上という式 (B2>=70) を入力する

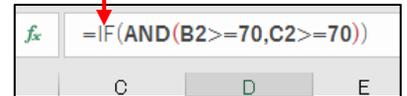


4) 続いて「論理式 2」欄に、安藤さんの数学の得点が 70 以上という式 (C2>=70) を入力する

(OKを押さないように!)

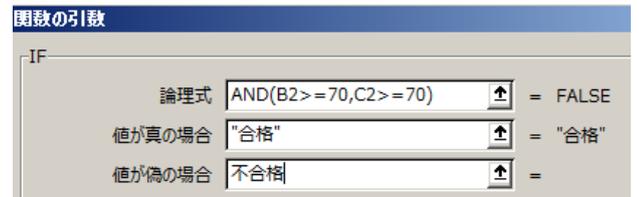
5) ここで IF 関数に戻るため、「数式バー」の IF をクリックする

6) 「論理式」欄に正しい式が入力されていることを確認して、「値が真の場合」欄に「合格」、「値が偽の場合」欄に「不合格」と入力して OK をクリックする (ここではじめて OK をクリック)



⑥ エンターキーを押すと安藤さんの結果が「不合格」と表示されるので、(国語は 70 以上だが数学は 70 以上でないため)

④の方法で D2 セルの式を D13 セルまでコピーすると、下のように全員の合否判定が表示される



名前	国語得点	数学得点	合否判定
安藤洋介	78	65	不合格
井上みどり	74	58	不合格
内田幸太	80	87	合格
江藤美咲	74	92	合格
小田城太郎	65	64	不合格
狩野治代	80	61	不合格
吉瀬裕磨	95	81	合格
大木さゆ	77	83	合格
豊田弘樹	64	59	不合格
山岡優美	94	69	不合格
菊池勝利	88	49	不合格
花村真実	77	63	不合格
平均	79	69	

※ 「国語」、「数学」のいずれも 70 点以上なら合格

⑦ 表の下に判定基準を記入し、列幅、文字位置などを整えて名前を付けて保存する

早くできた人は：

- A) IFとANDの使い方が十分理解できるまで、別シートで同じ問題を復習してください
- B) よくわかったら、「国語」が70点以上で「数学」が60点以上を「合格」とする、「英語」の科目も追加して3科目とも60点以上なら「合格」とするなど、「判定基準」をいろいろ変えて練習してみてください（表の下に判定基準を記入すること）